

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	良くなる やや良くなる	○ 百貨店（営業企画）	○ ・雑貨アイテムの構成比が拡大している現状の中、今月は買上客数は前年の6%増と集客できている。店舗企画の強化により売上回復は期待できる。
		コンビニ（経営者）	・街の周辺に飲食店が増え、来客数の増加が見込める。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・県に多くの予算が下りるので良くなるかもしれない。外国人観光客は年々増加しており、また格安航空がより盛んになることにより、リピーター率が増加すると期待している。
		通信会社（店長）	・新入学シーズンとなるので需要が増える見込みである。多様化する購入動機をしっかりとらえて販売につなげていきたい。
		観光名所（職員）	・予約状況が良い。
	変わらない	コンビニ（経営者）	・客の購買意欲が弱く、売上が上がらない。
		コンビニ（エリア担当）	・今後の消費税増税を踏まえ、たばこやし好品の駆け込み需要が見込めるが、その反動は必ず来る。販売・販促活動を戦略的に行い、いかに客を獲得し購買につなげるかがポイントとなるが、正直先が読めない。
		コンビニ（エリア担当）	・観光を中心とした県経済の安定は消費税増税前の3月まで続くとして予測する。
		衣料品専門店（経営者）	・年末ということでも少し期待していたが、街中の人の数が少ない。売上は前年を若干上回る状況が続いており、今のところ流れはあまり変わらないと感じる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・予約状況から推測できる先2、3か月の稼働率も今月と同様に前年同月実績を下回ることが見込まれる。年末年始を除いて予約の伸びが鈍化している。
		旅行代理店（マネージャー）	・賃金などが上がっているわけでもないのに、特に変わらないとみられる。
	やや悪くなる	一般小売店〔菓子〕	・消費税増税による買い控えの噂が既に話にのぼっている。駆け込み需要の無い業態では、3か月後の状況についてはあまり良い材料が無い。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・年末に向け少しは期待していたが、全くとって良いほど伸びず、むしろ販売量は落ちた。年明けからは更に客の財布のひもは固くなると思われる。
		住宅販売会社（代表取締役）	・9月の、消費税増税前の駆け込み需要の反動による受注の減少や人件費負担の増加が懸念される。
悪くなる	商店街（代表者）	・消費単価が全然伸びなく、アベノミクスの効果が末端の庶民まで来るには数年かかるのではないかと。短期間で回復することはあまり考えられず、その間に小規模店舗は大変危機的状況に陥ると思われる。希望としては早く良くなってもらいたいが、現実はなかなかそうはいかないようである。中心商店街では、特に小売店で売上が低下して困っているようである。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・周りに飲食店舗が急激に増え、客の取り合いになっている上に、来年4月の消費税増税の影響か、財布のひもも固い。原価率や人件費が上がり対応に追われている。	
企業動向 関連 (沖縄)	良くなる やや良くなる	－	－
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・年度末に向け、公共工事の着工が始まると予想する。
	変わらない	会計事務所（所長）	・年明けも今の回復ムードが残っていると予想する。また、消費税増税前の駆け込み需要の影響も大きいと考える。
		建設業（経営者）	・引き合い件数や、モデルハウスへの来場組数が減少している。
		輸送業（代表者）	・消費税増税までは需要が堅調に増えている。建設会社、骨材製造会社、弊社のような輸送会社とも受注残を消化するのに時間が掛かる。
		輸送業（本社事業本部）	・取扱量の変動する要因は見当たらない。消費税の変更に伴う需要が増える可能性はあるが、それほど大きく変動する要素にはならないと考える。
		通信業（営業担当）	・契約前の単価が安価な案件が多く、また受注側の経営努力を必要とする案件が増えている。
広告代理店（営業担当）	・景気が上向きの企業と逆に下降気味の企業に二極化しているように感じる。総じていうと景気の先行きは大きく変わらない見通しである。従って、販促投資額が拡大することも期待薄である。		
やや悪くなる	－	－	

	悪くなる	食料品製造業（総務）	・米国の金融緩和の縮小による円安が更に進むことが予想されることに加え、米国でも原料の価格上昇が予想されており、現状より更に原料価格が上昇しそうである。
雇用 関連 (沖縄)	良くなる	—	—
	やや良くなる	求人情報誌製作会社 （営業担当）	・例年どおり求人数が増加する。
		学校〔専門学校〕（就 職担当）	・新卒、既卒向けの求人が増えている。景気が回復傾向にあると感じる。
		学校〔大学〕（就職担 当）	・株価上昇等の影響で、求人数が増加すると信じたい。
	変わらない	人材派遣会社（総務担 当）	・消費税増税前に派遣や紹介予定派遣で採用して、良い人材であれば直接雇用に切り替えたいといった企業の雇用のミスマッチ防止の動きがみられる。景気は、しばらくは落ち着いた今の良い状態が続くとみられる。
やや悪くなる	—	—	
悪くなる	—	—	—